

令和4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	公共交通運行事業	担当課	都市計画課	
総合計画	政策	くらしの基盤	計画期間	平成13年度～
	施策	利便性の高い都市基盤の整備	種別	任意的事務
	基本事業(取組)	コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり	市民協働	企画立案への参画
予算科目コード	01-080401-09 単独	根拠法令・条例等	守谷市地域公共交通活性化協議会設置要綱, 守谷市ノンステップバス導入事業費補助金交付要綱	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>平成8年9月に運行開始した福祉循環バスを平成13年10月からコミュニティバスに形態変更して運行していたが、様々な課題が挙がり、平成20年6月に「守谷市循環バスのあり方等研究会」を設置し、今後のバスのあり方等について検討した。その結果、路線バスとコミュニティバスの補完関係を明確にし、連携の強化を目的として平成20年度に「守谷市地域公共交通活性化協議会」を設置し、協議会を主体に公共交通の見直しに取り組み、平成22年度からモコバスを運行した。</p>	<p>平成31年4月1日から1年間行った公共交通再編による実証実験の要望や利用実績等を踏まえ、令和4年度も引き続き、モコバスの段階的な再編を検討する。モコバスは、令和2年度に新車両を2台導入し、関東鉄道(株)と8年のリース契約をした(国の補助金「都市構造再編集中支援助事業費補助金」が、3か年交付される)。令和4年度も国の補助金を活用し、2ルートで運行を行うが、ルートの再編に向けた検討を行う。</p> <p>デマンド乗合交通は、利用向上を図るため令和2年度に平日の運行台数を3台から4台へ増車した。令和4年度も守谷タクシー(有)、関東県南タクシー(株)、小川交通(有)、(株)守谷福祉協会の4社(各社1台)で運行する。</p> <p>地域公共交通網形成計画(5か年計画)が目標年次を迎えるため、新たな計画の策定を行う。経費については、守谷市地域公共交通活性化協議会へ負担金として支出する。</p>
<p>目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)</p> <p>効率的で利便性の高い「将来にわたって持続可能な公共交通網の形成」を目指す。</p>	
<p>(参考) 基本事業の目指す姿</p> <p>バス、鉄道等の公共交通による快適な移動を確保する。</p>	

事業の課題認識、改善の視点(次年度にどう取り組むか)

目的達成のための課題(問題点, 現状分析, 課題設定)	具体的内容とスケジュール
<ul style="list-style-type: none"> モコバスの運行改善(交通空白地帯解消に向けた運行) デマンド乗合交通の運行改善(契約車両4台における利用者需要への対応) 	<p>モコバス及びデマンド乗合交通の運行改善を図る。新たな5か年計画(地域公共交通計画)を策定に向け、計画内容を協議するため公共交通活性化協議会を実施する。</p> <p>【モコバス】</p> <p>4月～6月 データ(乗降人数等)分析 7月～12月 ルート見直し案の検討(新たな計画との整合) 1月～ ルート再編に向けた準備</p> <p>【デマンド乗合交通】</p> <p>4月～6月 課題分析 6月～9月 運行事業者との調整 10月～ 改善策の実施(運転休憩時間の変更)</p> <p>【協議会】</p> <p>R4. 6月 : 第1回 事業計画等について R4. 11月 : 第2回 交通機関利用者等意向調査結果について R4. 12月 : 第3回 地域公共交通計画素案について R5. 1月 : 第4回 地域公共交通計画案について R5. 3月 : 第5回 地域公共交通計画について</p>
<p>改善内容(課題解決に向けた解決策)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通計画(R5年度～R9年度)の策定 モコバス: ルート再編(新たな計画に基づく見直し) デマンド乗合交通: 運行の効率化(車両運行時間の検証) 	

次年度のコストの方向性(→その理由)

<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	
---	--

R03年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R04年度の振り返り）	
R03年度の評価（課題）	R04年度の取組（評価、課題への対応）
<p>モコバスは、昨年度と同様に2ルートで運行し、利用者が多いバス停にベンチ（6台）を設置し利便性向上に努めた。</p> <p>デマンド乗合交通についても、昨年度と同様に4台で運行し、利用者の増加に対応するとともに利用マナーを徹底させるため利用規定の見直しを行った。</p> <p>また、令和3年度もコロナ禍により大きな影響を受けた交通事業者に対する緊急支援を継続し、新たに運転代行事業者も対象として総額9,171,980円を交付した。</p>	<p>モコバスは、引き続き2ルートで運行し、デマンド乗合交通についても、昨年度と同様に4台で運行した。</p> <p>地域公共交通網形成計画が目標年次を迎えるため、新たな計画として地域公共交通計画を策定し、その経費（9,350,000円）を負担金として守谷市地域公共交通活性化協議会へ支出した。</p> <p>また、物価高騰により大きな影響を受けた交通事業者（路線バス、貸切バス、タクシー、地域鉄道）に対する緊急支援を実施し、総額9,900,000円を交付した。</p>

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（R02）	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	目標値（R08）
モコバスの年間利用者数（人）	39,591.00	139,057.00	54,770.00	39,591.00	47,514.00	53,121.00	54,750.00
デマンド乗合交通の年間利用者数（人）	13,580.00	0.00	13,274.00	13,580.00	16,419.00	19,603.00	19,600.00
成果の動向（→その理由）							
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により利用者の減少傾向が続いていたが、コロナ禍が落ち着いたため、モコバスについては、コロナ禍前の水準に戻り、デマンド乗合交通については、コロナ禍前を上回る実績となった。</p>						
今後の事業の方向性（→その理由）							
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	<p>交通空白地域を改善するため、モコバスのルート見直しが必要であり、ルート再編に向けて引き続き検討・協議を行う。デマンド乗合交通については、予約のお断り件数が増えているので、車両の大型化を図るための検討・協議を行う。</p>					

コストの推移						
項目		R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	R06年度見込
事業費	計	77,151	84,280	89,753	78,947	78,947
	国・県支出金	12,325	11,647	11,550	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	866	12,719	864	0
	一般財源	64,826	71,767	65,484	78,083	78,947
正職員人工数（時間数）		1,661.00	1,406.00	1,852.00	0.00	0.00
正職員人件費		6,724	5,440	7,141	0	0
トータルコスト		83,875	89,720	96,894	78,947	78,947

令和4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報			
事務事業名	守谷駅東口市有地利活用事業	担当課	企画課
総合計画	政策	くらしの基盤	計画期間
	施策	利便性の高い都市基盤の整備	種別
	基本事業(取組)	コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり	市民協働
予算科目コード	01-020107-11 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>当該地は、守谷駅周辺一体型土地区画整理事業等により公共施設を整備する用地として確保されたが、施設の整備計画は周辺の開発状況を踏まえて策定することとして、これまでは暫定的に利用されてきた。当該地周辺においては、松並青葉地区の宅地販売が始まるなど、駅周辺のまちづくりが新たな段階に入ったことから、平成26年3月に守谷市総合計画審議会に当該地の活用のあり方を諮問し、平成27年4月の答申により、民間活力により利活用を図る方針が示された。</p>	<p>令和4年4月に開業したランチパーク守谷でのイベント等を実施するため、「ランチパーク守谷活性化推進会」を中心としたサポート体制を充実させ、様々なイベントを実施し守谷駅東口市有地での人々の交流や賑わいを創出していく。</p> <p>[当該地の情報] 所在地：中央二丁目5番地 他 面積：12,792.35㎡（全体）</p>
<p>目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）</p> <p>守谷駅東口市有地に居心地の良い公共的な空間や施設を整え、市内外からの幅広い年代層の人々が交流し、地域の課題解決を図るような活動を促すとともに、守谷市の住み良さを象徴するようなまちづくりに寄与する。</p>	
<p>（参考）基本事業の目指す姿</p> <p>市街化区域の有効な土地利用の促進を図る。 市街化調整区域の無秩序な開発を防ぎ、環境の保全に努める。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度末現在でランチパーク守谷運営協議会の前身である準備会が設立されているが、関係団体を巻き込んだ組織体とはなっていない。今後のランチパーク守谷の利活用促進のためには組織改編が必要である。 また、令和4年4月28日にランチ守谷・ランチパーク守谷がオープンしたが、地域団体や市民団体の利活用促進を進めるためのルールや運用の整理が課題である。 	<p>[令和4年4月]</p> <ul style="list-style-type: none"> ランチパーク守谷オープニングイベントの開催 [～令和4年7月] ランチパーク守谷活性化推進会の設立に向けた協議 [令和4年7月～] ランチパーク守谷運営協議会の設立に向けた関係団体とのワークショップ実施 ランチパーク守谷運営活性化推進会主催によるイベントの実施
<p>改善内容（課題解決に向けた解決策）</p> <ul style="list-style-type: none"> ランチパーク守谷運営協議会設立に向けたワークショップを定期的に開催し、関係団体での共通認識を醸成することでランチパーク守谷運営協議会の設立を目指す。 上記ワークショップで関係団体から意見徴収を行いつつ、大和リース（株）・守谷市で構成するランチパーク守谷活性化推進会で施設貸出のルールや運用の整理を協議する。 	

次年度のコストの方向性（→その理由）

<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	
---	--

R03年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R04年度の振り返り）	
R03年度の評価（課題）	R04年度の取組（評価、課題への対応）
<ul style="list-style-type: none"> ・オープンスペース整備工事については、開業こそ令和4年4月28日となったものの、工事自体は令和3年度内で竣工できた。 ・オープンスペースにおける運営・イベント実施の主体となる運営協議会の前身組織となる準備会が設立された。 ・地方創生テレワーク交付金を活用し、コワーキングスペースや創業支援を行うテナントを呼び込めた（開設事業者と市で協定締結済）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年4月28日にランチ守谷（商業施設）及びランチパーク守谷（オープンスペース）を開業し、オープンイベントを開催した。 ・ランチパーク守谷の運営母体は、前年度の「運営協議会設立準備会」から7月に「ランチパーク守谷活性化推進会」へ組織名を変更した。また、2回のワークショップを実施し、市民団体へ参画を促し、3月に地縁組織や市民団体を中心とした「ランチパーク守谷運営協議会」を設立した。 ・ランチパーク守谷では、パークの予約・窓口業務を委託している大和リース（株）及び（株）フログが中心となった年3回のイベントを含め、年18回のイベントを実施した。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（R02）	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	目標値（R08）
ランチパーク守谷イベント集客数 ※R3年度以前：守谷駅東口市有地利活用方針検討状況（単位：％）（人）	100.00	90.00	100.00	100.00	100.00	18,460.00	25,000.00
ランチパーク守谷登録会員数 ※R3年度以前：守谷駅東口市有地利活用準備進捗状況（単位：％）（名）	70.00	0.00	20.00	70.00	90.00	23.00	40.00
成果の動向（→その理由）							
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	商業施設及びオープンスペースのハード整備は令和3年度に完了したので、活用段階へと移っている。また、運営協議会の参画候補団体等と協議会の運営方針を検討するワークショップを実施し、令和5年3月には運営協議会の設立に至った。 なお、指標については令和4年4月28日に施設がオープンしたため、「活用方針検討状況」「活用準備進捗状況」から変更する。具体的には、ランチパーク守谷で行われたイベントの集客状況を図る「イベント集客数」、ランチパーク守谷でのイベント開催にあたって必要な「登録会員数」を設定す						
今後の事業の方向性（→その理由）							
<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	今後は、ランチパーク守谷の活用をより推進するため、大和リース（株）及び（株）フログが主体となってイベントを企画・実施してきた体制から、運営協議会が主体となる体制へと移行していく。協議会の自走までの期間にあたっては、デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）を財源に充てており、本事業のソフト面での初動運営を補助する。また、地方創生テレワーク交付金を活用して整備したコワーキングスペースについても、運営事業者との協定に基づき、創業支援・起業後の伴走体制など連携した事業推進を図り、KPIの達成を目指す。					

コストの推移						
項目	R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	R06年度見込	
事業費	計	18,606	323,412	20,378	20,525	20,525
	国・県支出金	0	312,232	3,730	4,375	2,641
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	18,606	11,180	16,648	16,150	0
	一般財源	0	0	0	0	17,884
正職員人工数（時間数）	1,138.00	1,011.00	1,253.00	0.00	0.00	
正職員人件費	4,607	3,912	4,832	0	0	
トータルコスト	23,213	327,324	25,210	20,525	20,525	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報			
事務事業名	みずき野地内市有地利活用事業	担当課	企画課
総合計画	政策	くらしの基盤	計画期間
	施策	利便性の高い都市基盤の整備	種別
	基本事業(取組)	コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり	市民協働
予算科目コード	01-020107-14 単独	根拠法令・条例等	企画立案への参画

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
平成20年11月に商業施設が撤退して以降、利活用が成されないままになっている当該地を市が購入し、民間事業者の有する企画力、資金力、ノウハウ等により地域の活性化につながる施設を整備する方針が示された。	<ul style="list-style-type: none"> 所在地：守谷市みずき野五丁目3番地1 敷地面積：8403.63㎡ プール棟、アネックス棟：賃貸借契約により、㈱海宝がスイミングスクール及びフィットネス事業を経営 旧銀行棟：土地建物使用貸借契約により、みずき野地区まちづくり協議会が売店（みずき野ひろば）を経営。 <p>地域の活性化につながる新たな利活用事業者の模索や興味のある事業者との調整を図りながら、利活用の早期実現をめざす。</p>
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
地域の活性化につながる施設を民間活力により整備することで、まちに魅力や活気を取り戻し、人口の回復につなげる新しい循環型のまちづくりを進める。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市街化区域の有効な土地利用の促進を図る。 市街化調整区域の無秩序な開発を防ぎ、環境の保全に努める。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

R03年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R04年度の振り返り）	
R03年度の評価（課題）	R04年度の取組（評価、課題への対応）
<ul style="list-style-type: none"> ・利活用に前向きな事業者からの提案があり、利活用にに向けた協議を重ねたが、施設整備費用の確保やみずき野地区住民の合意形成という課題があり、利活用方針の決定には至っていない。 ・現状企画課の業務としては、当該物件の維持管理業務が中心となっているため、他課への事業移管も検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページでは、利活用に前向きな民間事業者からの提案を募集しているが、大通りに面していない立地であることなどから、利活用の決定には至っていない。 ・プール棟の劣化度調査を実施した。早急に方針を決定をし、対応する必要がある。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（R02）	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	目標値（R08）
跡地の利活用方針検討状況（％）	70.00	50.00	70.00	70.00	75.00	80.00	100.00
跡地の利活用状況（％）	22.27	0.00	0.00	22.27	22.27	22.27	100.00
成果の動向（→その理由）							
<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	<ul style="list-style-type: none"> ・商業的に難しい立地であることから利活用が進展しないが、地域の活性化のために、商業施設にこだわらず、施設の維持管理まで考慮した現実的なレベルでの複合施設の検討を行ったり、利活用方法に進展はないものの、劣化度調査を実施するなど検討は進んでいる。 ・跡地の利活用状況は、みずき野まちづくり協議会が「みずき野ひろば」をの運営を継続しているので、現状維持としている。 						
今後の事業の方向性（→その理由）							
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	<ul style="list-style-type: none"> ・プール運営事業者と建物の安全性を最優先に考えた営業方針等について協議を進める。 ・利活用方法決定のために、積極的に民間事業者と交渉する。 ・利活用を進めるため、みずき野まちづくり協議会や運営・進出事業者と協議等を実施する。 					

コストの推移						
項目		R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	R06年度見込
事業費	計	5,790	7,294	12,323	11,201	11,201
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	5,790	7,294	12,323	11,201	11,201
	一般財源	0	0	0	0	0
正職員人工数（時間数）		601.00	312.00	331.00	0.00	0.00
正職員人件費		2,433	1,207	1,276	0	0
トータルコスト		8,223	8,501	13,599	11,201	11,201